



名古屋市総合リハビリテーションセンターは、相談から医療、訓練を経て、社会復帰にいたるまでの一貫したリハビリテーションサービスを提供するとともに、スポーツ活動の場を提供するなど、障害のある方や高齢の方が、社会の一員として自分らしく生きられるよう、さまざまな支援を行っています。

総合リハビリテーションセンター

リハビリテーションセンター

総合的で一貫したリハビリテーションサービスの提供を通じ、障害のある方の社会復帰に向けた支援を行っています。

福祉スポーツセンター

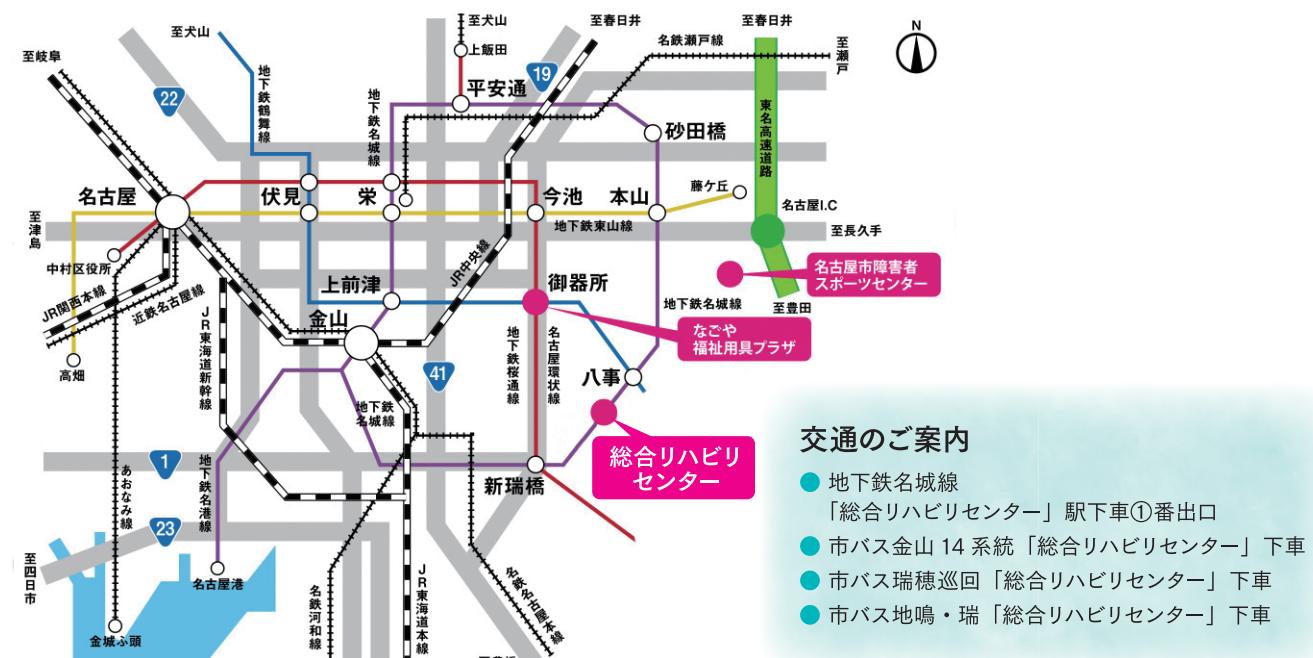
障害のある方・高齢の方等の健康づくりをサポートします。

障害者就労支援センター めいりは

障害のある方の一般就労を目標に、就労及び就労に伴う生活上の相談・支援を行います。

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

● TEL 052-835-3811（代表） ● FAX 052-835-3745



採用に関する情報はこちらから
ホームページ <http://www.nagoya-rehab.or.jp>



社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団



公式マスコットキャラクター
「りはみん」



名古屋市総合リハビリテーションセンター

栄養士 調理師 募集案内



社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団



一緒に働く仲間です



栄養相談

日々の食事提供から学んだ知識と経験を還元すべく、ひとに寄り添い共感し、導く指導から、さらに自らを高める学習へと繋ぐ。

調理風景

多岐に渡る調理にコンペクションを活用。クックチル方式を取り入れ作業効率↑↑↑。栄養学と化学の調和で安定の仕上がり。

栄養士さん

献立作成、調理レシピ、イベント等、意見を出し合いながら、みんなで作り上げていきます。イメージを具体化する職場です!!



給食部門はあなたをお待ちしています

総合リハビリテーションセンター長
名古屋市立大学名誉教授 医学博士 山田 和雄

名古屋市総合リハビリテーションセンター「以下リハセン」は昔から患者さんや訓練中の方々への給食が美味しいことで有名でした。私が市大病院にいた頃も、リハセンの給食は大変美味しいという噂が大学まで伝わっていました。これは料理を苦勞なく、患者さんや訓練中の方々に給食するということで、大変興味がありました。

そのリハセン給食部門も、最近では効率的運営が重要視され、委託化していました。しかし、ここで再度直営に戻し、美味しいリハセン給食を提供しようと、給食部門の職員が頑張っています。

リハセン給食のおいしさを確認する機会として、給食を受けている方々以外にも、検食というシステムがあります。私は月1回検食者となって給食の味を楽しめていただいていますが、最近味が大変良くなっていると思います。給食部門の職員が頑張っているのだと思いながら、月1回の検食を楽しみにしています。この案内を読まれた皆さんで、美味しい給食を提供してみたいと思われる方、ぜひ募集に応募して下さい。さらに給食が美味しくなることを楽しみにしています。

一人ひとりの可能性をカタチにする

1日の流れ 午 前



1日の流れ 午 後



勤務は三交代制です

先輩の声

丁寧に教えていただきとても楽しく働いています



栄養士
野田 采伽さん

2020年の3月に卒業し、4月から働いています。直営の病院では新卒の栄養士が働ける場所は少ないですが、働いた経験がない私も丁寧に教えていただき、とても楽しく働いています。

また、事務仕事・現場仕事の両方を行うので、栄養士の仕事を2つの視点から学ぶことができます。

業務内で私が一番楽しんでいるのがデザート作りです。南瓜プリンやヨーグルトムースなど色々やかで美味しいデザート作りをしています。



献立例



先輩の声

いろいろな料理にチャレンジできます



調理師
藤原 寿三江さん

私は、食を通して医療を学べると良いなと思い、病院調理の仕事を始めました。

総合リハビリセンターは、病院と施設が併設する珍しい環境で働くことができます。

栄養士、調理師とともに、下処理や調理、盛付けに配膳などを行っています。

献立は和洋中、またイベントメニューなど、いろいろな料理にチャレンジできます。

